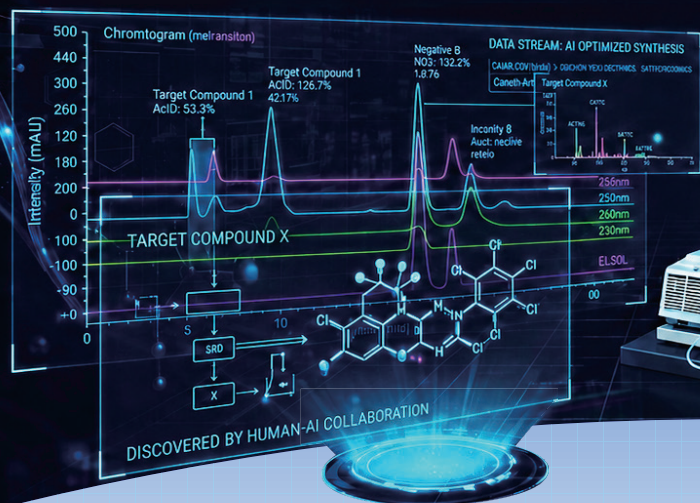


「有機合成」は、さまざまな分子を自在につくり、医薬品や機能性材料の開発を支える科学です。本講演では、実験科学者が受け継いできた知識と技術を「守」、実験の記録や分析データを蓄積・共有する電子ラボノートと、合成ロボットによる実験の自動化を「破」、人とAIが協働して未知の反応や分子を生み出す未来を「離」と捉えます。実験科学者だからこそ描けるAI時代の有機合成の姿を、私たちの取り組みとともにわかりやすく紹介します。



有機合成の 守・破・離

実験科学者とAIがともに創る
令和の有機合成

参加無料・申込不要

2027
1/28 thu.
[18:00 - 19:30]

椋山 儀恵

自然科学研究機構 分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 准教授
総合研究大学院大学 分子科学コース 准教授

シカゴ大学大学院にて博士号を取得後、ハーバード大学博士研究員や東北大学助教を経て2014年より現職に就任し、有機合成化学や触媒化学を専門とし、非共有結合性相互作用を活用した触媒設計のほか、情報化学・AI・ロボティクスを融合した有機合成の自動化・高度化研究を展開しています。



主催 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
分子科学研究所

共催 公益財団法人 豊田理化学研究所

お問合わせ先 分子科学研究所 広報室

Tel:0564-55-7262 Mail:forum@ims.ac.jp

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地

詳細はwebサイトを
ご覧ください

分子科学フォーラム

検索



詳細について 下記URLよりご覧ください。

https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2026/08/28_7136.html



イベント情報をメールでご案内しています。分子科学研究所ホームページまたはこちらのQRコードからご登録いただけます



分子科学フォーラムについて
市民の方々に分子科学やその他の分野の第一線の研究成果をわかりやすく紹介する講座で、1996年に開講し年4回(2008年までは年6回)開催しています。